

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020110

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2	林業の振興	事業優先度	B		
単位施策	1	生産体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	林業担い手対策事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武町林業親交会		関係課	#N/A		
事業指標	林業従事者の就業の長期化		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
事業目標	振動障害検診の受信 21名		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働	無					

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	振動障害検診に対する助成	振動障害検診に対する助成	振動障害検診に対する助成	振動障害検診に対する助成	振動障害検診に対する助成	振動障害検診に対する助成
	事業費(千円)	665	133	133	133	133
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	665	133	133	133	133	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	198	107	91	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	198	107	91			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 振動障害検診に対する助成 17名	(実施内容等) 振動障害検診に対する助成 14名	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	検診の受診 21名	検診の受診 21名	検診の受診 21名	検診の受診 21名
	年度達成率		80%	68%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率		16%	30%	30%
事業進捗状況		☆☆☆☆	☆☆☆			

事業名	林業担い手対策事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	林業従事者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	振動障害検診の受診者数		
【抱える課題やニーズは】	林業従事者の減少・高齢化		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	林業従事者の就労の長期化・安定化		① 検診受診者数÷検診受診予定者数	目標年度	平成26年度
				目標値	21名
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	林業の振興、地域生産力の向上		②	実績値	14名
		達成度		66.7%	
		目標年度		平成26年度	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①補助金の交付	林業従事者がチェーンソー等による振動障害の早期発見と予防を図るために受診する振動障害検診に対して、検診に係る費用の半額を町が助成	目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	林業従事者の減少・高齢化の現状から、林業従事者の意欲の維持・向上と就労の長期化・安定化を促進し、林業労働力の確保を図るべく、町が助成することは必要性が高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	定期的に検診を受診することで振動障害の早期発見に繋がり、就労の長期化・安定化並びに労働力の確保に寄与した。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	林業従事者の減少・高齢化の現状から、就労の長期化・安定化を促進し、林業労働力の確保を図るための取り組みとして、医療機関で受診する振動障害検診の半額を町が助成するもので、事業の必要性から町が費用の半額を助成するのは妥当であり、充分コスト削減に努めている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	林業に従事する作業員全てを対象としている。また、作業員も町の要領に基づき負担している。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
森林作業員の就労の長期化と安定化及び福利厚生の上昇を目的としたものであり、地域生産力の向上を誘発する事業であることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断するが、林業従事者自体の減少が避けられなく、目標値の見直しも必要。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
近年の林業を取り巻く状況は厳しいものがあり、林業従事者の減少・高齢化とも相まって本町林業の相対的な活力の低下が懸念されるところであり、林業事業体の体質強化や林業従事者の確保を図っていく必要があるため、当分は現状維持が適当である。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止